

2023～2024 年度会長方針 『ロータリーを学び、社会・地域に奉仕しよう』

会長/富坂伸吾、幹事/新保一洋、SAA/阿部明德、クラブ運営委員長/渡邊恭司

例会 毎週月曜日 12:30 上野精養軒 TEL03-3821-2181

事務局 〒110-0008 台東区池之端 3-2-2 メゾン池之端 302 橋本登美子

TEL03-5814-2491 FAX03-5814-2490 e-mail office@tokyo-ueno-rc.com



世界に希望を生み出そう

地域社会の経済発展月間・米山月間

1712 回 12 月 4 日

No.1703

前回の例会報告 11 月 27 日 第 1712 回

ロータリーソング「それでこそロータリー」

クラブソング「めぐる友愛 秋」

ソングリーダー 大瀧会員

「4 つテスト」唱和

地区外来訪者

元 NHK エグゼクティブアナウンサー

12/7 オープンフォーラム総司会 水谷彰宏様

地区内来訪者

東京秋川 RC 坂谷充孝様(地区青少年交換委員会)

東京武蔵野 RC 森江加代様(地区青少年交換委員会)

■出席報告 (会員 55 名内出席免除 7 名)

会員数	出席者	出席率	11 月 13 日修正出席率
55 (52)	41	78.85%	76.92%

会長挨拶



幹事報告

RI 関係

・ガバナー事務所より、シンガポール国際大会ガバナーナイトのご案内が届いております。2/28 締切ですので、国際大会ご参加の方はガバナーナイトにもご参加下さい。詳しくは掲示板をご覧ください。

他クラブ関係 他クラブ変更は掲示板をご覧ください。

委員会関係

佐谷親睦委員長



親睦旅行の請求書が旅行会社から届くと思いますので、12/20 までにご精算をお願いします。

クリスマス忘年家族会について、アレルギーシートをお配りしております

ので、必ずご確認ください、11/30 までにお知らせ下さい。

園部姉妹クラブ交流委員長



12/20 石垣 RC3000 回記念例会の参加予定者現在 15 名。締切が 12/8 ですので、ご参加、もしくはキャンセルなどございましたらお知らせ下さい。

瀬古オープンフォーラム部門長



12/7 オープンフォーラム、本日現在の集客数が 950 名超。1500 名を目指して引き続きのご協力をよろしくお願い致します。また、次回例会で開催に向けた役割分担などお話しさせていただきます。

させていただきます。

結婚記念日おめでとうございます♥

11/27 小林会員

ニコニコボックス

東京秋川 RC 坂谷充孝様 ローテックスのお二人が卓話でお世話になります。よろしくお願い致します。

東京武蔵野 RC 森江加代様 今日はローテックスの卓話の機会を頂きましてありがとうございました。東京

上野ロータリークラブ様の例会は初めてで楽しみにしておりました。よろしくお願い致します。

**富坂会長** オープンフォーラムまで10日です。皆様、よろしくお願い致します。

**尾中会員** 結婚記念日に可愛いお花をお贈り頂きありがとうございました。部屋がパッと明るくなりました。

**園部会員** 11/21 磯子 CC でのゴルフコンペで久しぶりに優勝させていただきました。本日のローテックス蒲原さんと杉村さんの卓話、楽しみにしています。

**末延会員** 11/25 のゴルフで富坂会長のボールを2回も発見することができました。昨日、九州場所千秋楽を弾丸ツアー一日帰りで見てきました。霧島関優勝おめでとうございます！

**出山会員** 11/22 ゴルフ同好会ありがとうございました。同組の塚田さん、園部さん、安藤さん大変お世話になりました。またカードゲームやりましょう！

**安藤会員** 11/22 ゴルフコンペに参加させていただき、3等賞をいただきました。メンバーにも恵まれ本当に楽しいプレーが出来ました。ありがとうございました。

**★ローテックスの蒲原あずさ様、杉村友菜様、卓話楽しみにしています。**

**中村会員・富坂和弥会員・新保幹事**

**根本会員** ★+誕生日のお祝いでメロンを贈っていただきありがとうございました。

(本日の合計 56,000 円)

(本日までの累計 1,591,000 円)

## 卓話

### 紹介 園部青少年 RAC 委員長



本日は、ローテックス活動の紹介をして頂きます。また各クラブにご協力をお願いしておりますが、卓話料やグッズ販売も貴重な活動費になりますので、皆様のご協力をお願いします。

### ローテックス 蒲原あずさ 様



初めまして。ご紹介に預かりました55期 ROTEX 副委員長を務めさせていただいております蒲原あずさです。本日は、青少年交換プログラム

についてご紹介させて頂く機会をいただき誠にありがとうございます。まずは軽く自己紹介させていただきます。

私は 2580 地区から 2019 年の 9 月から 2020 年 3 月にかけて約半年間イタリア 2060 地区に派遣させていただきました。スポンサークラブは東京小平ロータリークラブで、現在は法政大学グローバル教養学部グローバル教養学科に在学しています。

私が派遣させて頂いたのは、イタリアの北部、フリフリ・ベネチアジュリア州の都市であるポルデノーネというベネチアから電車で約 1 時間、人口約五万人の街でした。

学校では日本と同じようにクラスに分かれていて私のクラスの子はロシア語、ドイツ語、英語、を学んでいました。クラスの中に日本のアニメ、漫画、食に興味がある子が多くたくさん話しかけてもらいました。先生方にも日本が大好きな人が多く、ドイツ語の先生は浴衣をきた写真を見せてくれ困ったらここに電話しなさいと、日本の団体を教えてくれました。また物理の先生は日本語を学んでいて、自己紹介をいきなり日本語でされとても驚いたのを覚えています。

普段の学校は 2 時に終わり、その後には語学学校に週 4 で通っていました。学校の授業も語学学校の授業もすべてイタリア語だったので、頭がパンクしそうになり、毎晩 9 時に寝ないと次の日、体がもたなかったです。



学校生活



私は7ヶ月間で3つの家族にホストファミリーして頂きました。最初の家族はホストシスターがメキシコに留学していたため、家族はマザー、ファザー、シスター、ブラザーでした。ホストシスターは気軽になんでも話しかけてくれ、私のイタリア語の先生にもなってくれました。2番目のホストファミリーは約1ヶ月ちょっとの短い間でした。ホストシスターに浴衣をプレゼントした際、とても喜んでもらい嬉しかったです。マザーからはティラミスの作り方を教わり、シスターとブラザーには学校の宿題を手伝ってもらいました。

3番目の家族は3週間ほどの短い間でしたが、とても仲良くなれました。ファザーはとても愉快な人で冗談や面白い言動で沢山笑わせてくれました。また、マザーと

は夜ご飯を一緒に作り、カルボナーラやリゾットの作り方を教えてくださいました。最終日にはきなこ餅をみんなで食べ、マザーに浴衣をプレゼントしました。



ホストファミリー

私の地区では月一回、約 30 人の派遣生が集まり、旅行やアクティビティをしていました。

留学生とは互いを励まし合い、1人が困っていたらみんなで助け合いました。またお互いの町を行き来し、元日にお泊まり会などもしました。中には英語が話せない留学生もいてイタリア語で会話をしなければならないこともあり、「あの子と会話したい」との思いが、イタリア語を学ぶモチベーションにも繋がりました。今思うと言葉が通じなくてもジェスチャーなどでお互いの言いたい事は伝え合っていた事にびっくりしています。

その中でも日本に興味を持ってくれたアメリカ人の子が、この前の春休みに日本に遊びに来てくれ、一緒に東京観光をしました。



2019

2022

残念ながらコロナウイルスにより3ヶ月を残すところで強制帰国となりましたが、それでも彼らとイタリアで過ごさせていただいた半年間はとてもかけがえのない経験となり、人間的にも大きく成長させていただきました。本日は、ROTEX から見た青少年交換、ROTEX について、そして活動報告の3点を発表させていただきます。

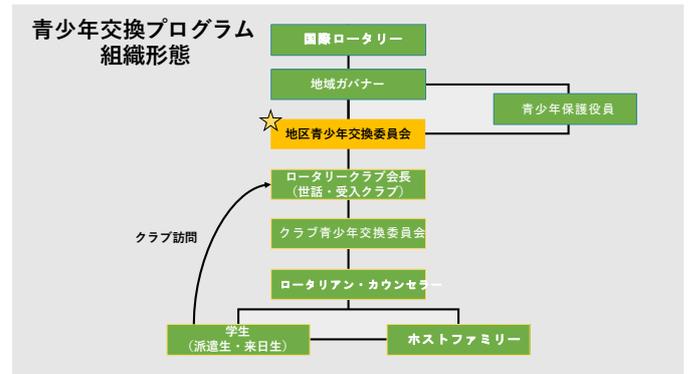
#### 青少年交換について

ロータリー青少年交換プログラムは、15~19歳の青少年に1年間交換留学の機会を提供する「青少年奉仕」活動です。現在、100以上の国で約530の地区が連携しています。

始まりは、1929年、フランスのニースで交換留学です。この後、1975年に公式的に「ロータリー青少年交換」が認定され、現在まで94年間続いています。

主な目的は海外交流の機会を提供し、国際理解と親善の心を育むこと。異文化を理解し、国境を越えた友情と信頼を築く機会をもたらすことで、世界の平和を少しずつ実現するリーダーを生み出すことを目的としています。青少年たちは小さな親善大使として世界に派遣され、母国と派遣国の架け橋のような存在になれるように文化交流を行います。

続いて、青少年交換を行う組織形態です。黄色い部分は、青少年交換委員会という組織で、学生を取りまとめ、その地区における青少年交換プログラムに関わるイベントを企画開催しています。例えば、月に1回青少年交換委員会を開き、その場で学生の状況を共有したり、問題解決案を話し合ったりします。



現在、2580地区では日本に来ている海外学生が12人、来年度に海外に派遣する日本人学生が沖縄に1人を含む、10人です。2580地区は規模が小さいので学生とロータリアンの方々との距離も近く、アットホームな雰囲気です。

具体的なプログラム内容は「海外に学生を派遣する」以外は地区によって異なります。2580地区では青少年交換は5年間のプログラムになっています。

まず試験に受かった学生は1年間、「派遣予定学生」として活動します。これはいわば、海外に派遣されるための「準備期間」です。海外から日本に派遣されている学生は「インバウンド」と呼び、彼らと共にロータリーの活動に参加します。

一年目の学生はアウトバウンドと呼び、来日生とともに地区青少年委員会の行事に参加します。こちらについての詳しい内容は活動報告の際にご紹介させていただきます。アウトバウンズは、ロータリー行事の他にもスポンサークラブの訪問やロータリーでの月2回行われる茶道体験、フィールドトリップ、ジャパントアラーなど

のさまざまな活動を通じて、日本文化について派遣先の国で伝えられるように学んでいきます。

その後、学生は2年目に「小さな親善大使」として海外に派遣されます。現地の学校に通いながら、受け入れ先のホストロータリークラブを訪問したり、世界中から集まった海外の交換留学生と交流をしたりします。その活動内容や頻度は国ごとの地区体系により大きく異なります。学校やロータリークラブでは、日本の文化や現地での生活についてプレゼンするなど、ロータリーの枠を超えた様々な活動を通じて日本と派遣国の架け橋になれるように努力していきます。

そして帰国してから3年間は ROTEX として活動します。ROTEX 活動内容については別のスライドで細かく説明しますが、主に日本に滞在している来日学生のサポート、プログラム1年目である派遣予定生の留学準備のサポート、青少年交換事業の目的である異文化交流促進のための活動の企画運営、青少年交換委員会のサポート、そして現在行っているような卓話活動をボランティアで行います。

## 2580地区青少年交換プログラム



### 杉村友菜 様



ここからは私が ROTEX について説明させていただきます。まずは私についてご紹介させていただきます。56期ROTEXの杉村友菜です。私の出身高校は、文京学院大学女子高等学校で、スポンサークラブは東京葛飾ロータリークラブさんです。私の派遣国はイタリアだったのですが、生憎新型コロナウイルスのパンデミックにより、派遣中止となりました。現在は、武蔵大学国際教養学科で英文学と歴史学を専攻しています。

次に、なぜこの青少年交換プログラムに応募しようと思ったのかをご紹介させていただきます。私は、両親から人の役に立つ仕事は、お金には変える

ことができない価値観を与えてくれ、人との繋がりを大切にさせてくれると教えられました。なので、幼い頃から人のためになる仕事をしてみたいと考えていました。入学した文京学院では、青少年交換プログラムに参加した先輩が多く、先輩たちの話をきいて、青少年交換プログラムは他の留学では経験できない経験ができ、将来の夢である人の役立つ仕事をする上での土台を作ることができると考え、応募することにしました。続いて派遣が中止となってどのような心境になったのかをお話しさせてください。

私の派遣先のイタリアが欧州の中で、早くから新型コロナウイルスのパンデミックが始まっていたので、2020年の3月に当時の委員長さんから事前に、もしかしたら私の派遣国が変更になるかもしれないというお話がありました。しかし、私たちの予想を裏切るように新型コロナは世界的なパンデミックとなり、このプログラム自体が中止となってしまいました。この知らせを聞いて、はじめはショックで何ごとも手に付かない状況でした。でも、家族や学校の先生、友人の支えのおかげで立ち直ることができ、現実を受け止め、前向きに、これも人生における経験の一つと考えられるようになりました。そして、3年前に留学できなかった悔しさを糧に、今年の8月にモルガン・スタンレー主催の2023 Building the TOMODACHI generation に参加し、ワシントンD.C.へ行きました。この経験を通して、心理学に興味を持ち始め、大学卒業後に海外大学院に進学したいと思うようになりました。



続いて、青少年交換プログラムを通して学んだことをお話しさせていただきます。

まず、共に派遣が中止となってしまった同期です。私たちは、派遣がなくなってしまったことで、逆に仲が深まったと思います。派遣中止という同じ苦い経験を共有したことが、私たちの仲を深めてくれたのかなと考えてい

ます。右の写真にあるように、同期全員でDisneyへ行ったり、プライベートでもご飯に行ったりしています。次に、先輩ROTEXです。私が派遣学生であった頃の52期ROTEXの皆さんは、今私がROTEXとして活動していく上でのロールモデルとなっています。52期ROTEXの皆さんは、どんな些細なことでも相談に乗ってくださいました。毎月開かれるオリエンテーションや忙しいプライベートの時間を割いてご飯に連れて行ってもらい、そこで進路や派遣中止後のプランなど些細な問題に親身に相談に乗ってくださいました。なので、私が52期ROTEXの皆さんからしていただいていた嬉しかったことは、59期学生や来日生に積極的にしていきたいなと思いました。

### 青少年交換プログラムを通して学んだこと

#### \*同期\*

-同じ苦い思いを経験している  
-仲が深まった

#### \*先輩ROTEX\*

-どんな些細なことでも相談に乗ること

#### \*ロータリアンさん\*

-社会貢献の重要性  
-人脈の大切さ



最後にロータリアンさんです。

青少年交換委員会に携わってくださるロータリアンさんの背中を拝見し、社会貢献と人脈の重要性を学びました。私たちが至福な生活を過ごしているのは、さまざまな人がより良い社会にしていこうと目指して、いろいろな社会貢献活動をしているのだなと思いました。また、人脈は何よりも大切であるとのプログラムを通して痛感しました。今繋がった縁はいつか自分や相手を助けることができると信じています。私は、結果的に派遣に行くことは叶いませんでしたが、行かなくてもたくさん社会に出てから役立つことを学ぶことができました。

ROTEXについて

ROTEXは青少年交換委員会に所属しており、ロータリー青少年交換プログラムで海外に一年間滞在した後、学生に一番近い存在の先輩として学生に対して交換留学のサポートを行います。ROTEXは3年間のプログラムですが、帰国直後は受験勉強等もあるため、多くの学生は大学受験終了後に本格的にROTEX活動に参加し、プログラムに献身しています。

ROTEXの活動内容については以下のとおりです。例年このような行事を主に企画運営しております。執行代によって、内容を決めることができ、例えばジャパン

ツアーやサマーキャンプのアクティビティ内容や訪れる場所、フィールドトリップと呼ばれる遠足の内容や頻度は年度によって変わります。しかし、毎年、来日学生と派遣学生が日本文化を学び、異なる価値観に対して理解を深め、コミュニケーションを取れるような場を作ろうと努めています。

月に一度のオリエンテーションでは、ガバナー提出向けの書類の作成など、派遣に向けて必要な事柄の案内や、英語や派遣先の言語でのスピーチを課しています。スピーチの後はROTEXからのフィードバックを行い、語学の上達や発表態度に対する指導を行っています。



### 年間行事

- 6月 選考試験
- 8月 サマーキャンプ
- 9月 (帰国報告会)
- 12月 派遣国発表
- 3月 ジャパンツアー
- (翌) 6月 帰国前報告会

#### 【その他】

- ・オリエンテーション 1回/月
- ・茶道 2回/月
- ・フィールドトリップ 1回/2ヶ月

続いて活動報告に入らせていただきます。2020年から新型コロナウイルスの影響で中止されていたこの青少年交換プログラムですが、2022年に入り約2年ぶりに再開しました。コロナ前最後の青少年交換がされている際、私自身を含む現在の執行代はコロナ前のROTEXを経験したことがありません。コロナが終わってから1年しか経っていない現在も、先輩方が積み上げてきたものを守りながら、このロータリーの青少年交換という素晴らしい事業が更なる発展を遂げられるように試行錯誤しています。

8月にサマーキャンプ、来日学生の日本語強化研修を所沢で行いました。10日間にわたりますが、来日学生はひらがなとカタカナのマスターを目標にしながらか基礎会話を学びます。授業時間外では川越に行ったり、日本のポップカルチャーや伝統に触れる機会をつくりました。こちらはそれぞれの名前に漢字をあてて、日本風の名前を習字で書く体験をさせています。最終日には日本語で自国についてプレゼンをしてもらいました。



### サマーキャンプ

- 【INBOUNDS】 - 入国当日から10泊11日
- ・日本語強化合宿
  - ・一ひらがな、カタカナの修了
  - ・最終日の母国プレゼン（日本語）
  - ・日本の表面的な文化に触れる
  - ・アイスブレイク
- 【OUTBOUNDS】 - 3泊4日
- ・AFのSL & PLの完成
  - ・ロータリーについて学ぶ
  - ・アイスブレイク

九月には、米山委員会の方からお声かけをいただき、2580 地区と 2620 地区の合同研修に参加させていただきました。静岡県内の三島、日本三大清流の柿田川の清掃や米山梅吉記念館を訪れ、お墓参りもしました。今後もこのような青少年交換プログラムの枠を超えた活動にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。



### 米山記念奨学生合同研修

- ・9月上旬
- ・2620地区（静岡・山梨）との合同研修活動
- ・日本三大清流 柿田川の清掃活動
- ・米山奨学生との関わり
- ・日本の自然との関わり
- ・RYEプログラムを超えた交流と活動

茶道の稽古は年間を通して行います。年度末には学生たちは日本の伝統的なもてなしができるようになり、帰国後に家族や友人に茶道を披露するインバウンドや、派遣後に現地で茶道を披露するアウトバウンドが毎年あります。ROTEX はレッスンの日程を講師の方と相談し引率しています。

今日庵での茶道の稽古は、2580 地区特有の活動で、何年も前からロータリアンさんや今日庵の方のご好意で続けさせていただいています。そのため、先生方に迷惑をかけないように、運営も工夫しています。



### 茶道

- ・2580地区独自の活動
  - ・裏千家、今日庵
  - ・日本の伝統的なもてなし
  - 派遣中・帰国後にそれぞれ披露
- ROTEXの担当
- ・稽古日の調整
  - ・出欠の取りまとめ
  - ・引率
  - ・引き継ぎの徹底

フィールドトリップと呼ばれる遠足を2ヶ月に一回実施しています。日程調整から行程までをすべてROTEX が企画し、引率します。

10月22日には、鎌倉で一日かけてフィールドトリップを行いました。日本の伝統的な建造物をめぐる他、学生同士での異文化の交流を促進するために、グループに分けて行動させるなど工夫しました。



### フィールドトリップ

- ・2ヶ月に一回
  - ・ROTEX安全主催
  - ・日程調整、企画、案内作成、引率
- FTの位置付け
- ・異文化交流の場・機会を提供
  - ・ポフナルチャーを学ぶ
  - ・社会科学

このような活動も昨年は企画いたしました。



### クリスマス会

With 2750地区



### 国会議事堂見学 防災体験 防災ディスカッション

今後は、オリエンテーションや茶道を継続しながら、数回のフィールドトリップの他、年末には派遣生の派遣国が決定されます。春には西日本を回るジャパンツアーを控えています。サマーキャンプは毎年同じ場所で行われますが、ジャパンツアーは宿から毎日の行程まで全てのことをROTEX が決定し引率します。一大イベントの一つになりますのでローテックス一同、一丸となってジャパンツアーに向けて準備を進めています。



### ジャパンツアー

【INBOUNDS・OUTBOUNDS】

- ・9泊10日
- ・日本について知る
- ・人と一緒に暮らすことを知る
- ・国際交流

活動報告は以上になります。

最後に一つだけ、オリジナルグッズについて紹介させていただきます。こちらのグッズは今年度の第2580地区青

少年交換プログラムのオリジナルグッズとなっていて、年度始まりに私たち自身でデザインした今年度限定のものになります。今年のコンセプトは「日常から思わず使いたくなってしまうグッズ」です。

グッズ販売のお知らせ



私たち ROTEX はインバウンドやアウトバウンドが日本文化を学び、異文化交流の促進の場所や機会の企画に努めています。

このような私たちの主催するイベントは ROTEX 費という費用から出ています。この予算から学生たちの各施設の入場料や体験料金、飲食費を支出しています。こちらのグッズの売り上げは ROTEX 費に回させていただきますので、彼らの一年間の日本での文化体験がより充実したものになるように、多くの皆様にご協力いただければ幸いです。

また、今回はウクライナからの来日学生である、芸術センス抜群のクセニアがデザインしたグッズもご用意しております。このデザインのグッズの売上げは、一部ウクライナへ寄付をさせていただく初の試みを行っております。こちらも合わせてご購入いただければと思います。

本日は以上になります。ご静聴いただき、誠にありがとうございました。

11/22(水)ゴルフ同好会コンペ 磯子 CC にて



🏆 園部会員 優勝 🏆  
おめでとうございます!!



次回の例会

12/11(月)12:30~上野精養軒  
卓話「東京都政、いまむかし」  
東京都議会議員 増子ひろき 様

今後の予定

12/20(水) 石垣 RC 3000 回例会  
12/25(月)18:00~  
クリスマス忘年家族会  
(東京上野 RAC 合同)  
東京ディズニーランドホテル 3F  
「シンデレラドリーム」  
ミッキーとミニーのステージや大抽選会 など

今後の予定

12/7(木)19:30-21:15  
オープンフォーラム  
文京シビックホール大ホール  
「温故知新から学ぶチームビルディング」  
パネラー  
現サッカー日本代表監督 森保一氏  
前サッカー日本代表監督 西野朗氏  
元サッカー日本代表 中山雅史氏  
司会 元 NHK エグゼクティブアナウンサー  
水谷彰宏氏

本日の例会

12/4(月)12:30~上野精養軒  
クラブ年次総会